



平成29年11月9日
海上保安庁

黒潮の流路が更に南下(11月3日観測)

海上保安庁では、11月3日に測量船「海洋」により、黒潮蛇行域である遠州灘南方において、海流の観測を実施しました。

その結果、黒潮の流路が9月29日時点より約60km南下し、更に蛇行が拡大していることが確認できました。

海上保安庁では、測量船を用いて、定期的に海流の観測を行っています。黒潮の正確な位置を衛星画像等で捉えることは難しいことから、測量船による現場観測が重要です。

今回の観測では、測量船「海洋」は、東経137°30'の経度線を北上しました。観測測線上での黒潮の流軸^{*1}は、北緯31°25'付近にあり、速さは3.2kt(約1.6m/s)であることを確認しました(付図1)。

黒潮は、流れが速いことから、流路の変動に伴って船舶交通や漁業の海洋活動に大きく影響することがあるので注意が必要です。

海上保安庁では、黒潮の蛇行の状況を正確に把握するために、今後も継続して観測を実施する予定です。



測量船 海洋

総トン数 550トン

全長 60メートル

使用機器 多層音波流速計

なお、海上保安庁と気象庁では、インターネットの以下のリンク先において、黒潮等に関する各種情報を提供しています。

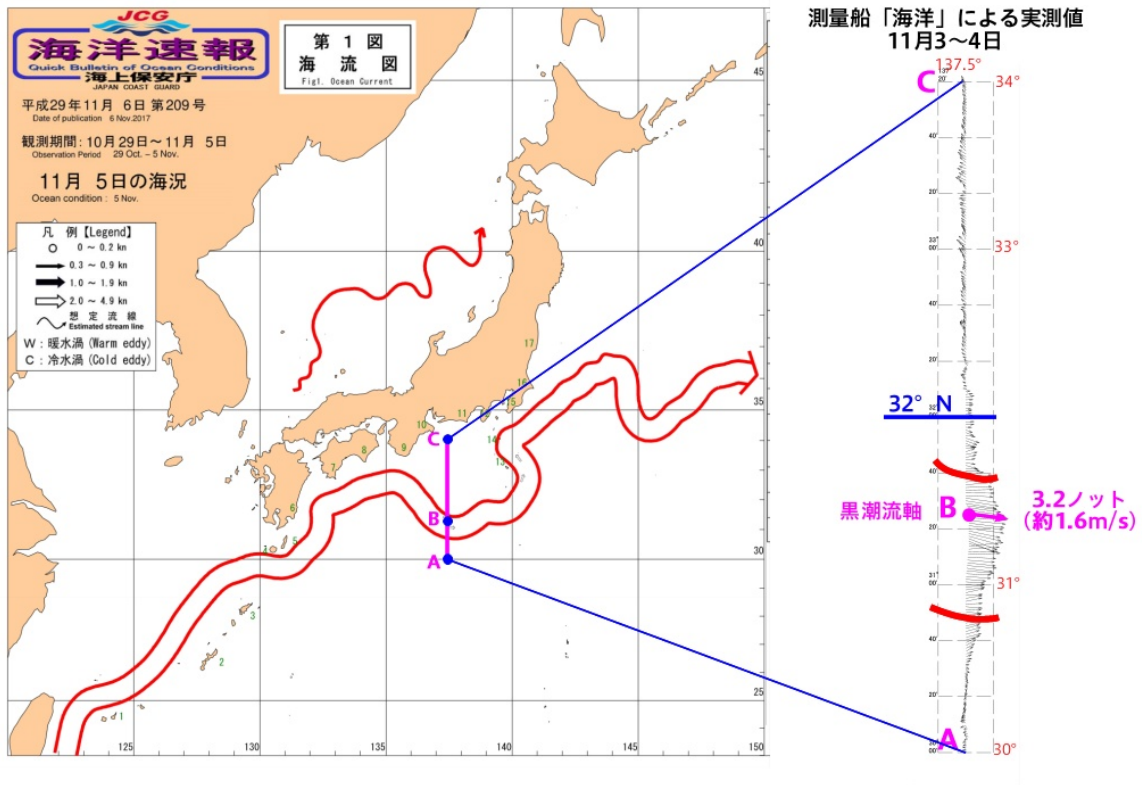
日本周辺の海流や水温の現況を表した「海洋速報」(海上保安庁)

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/index.html>

黒潮の情報をまとめた「黒潮の大蛇行関連ポータルサイト」(気象庁)

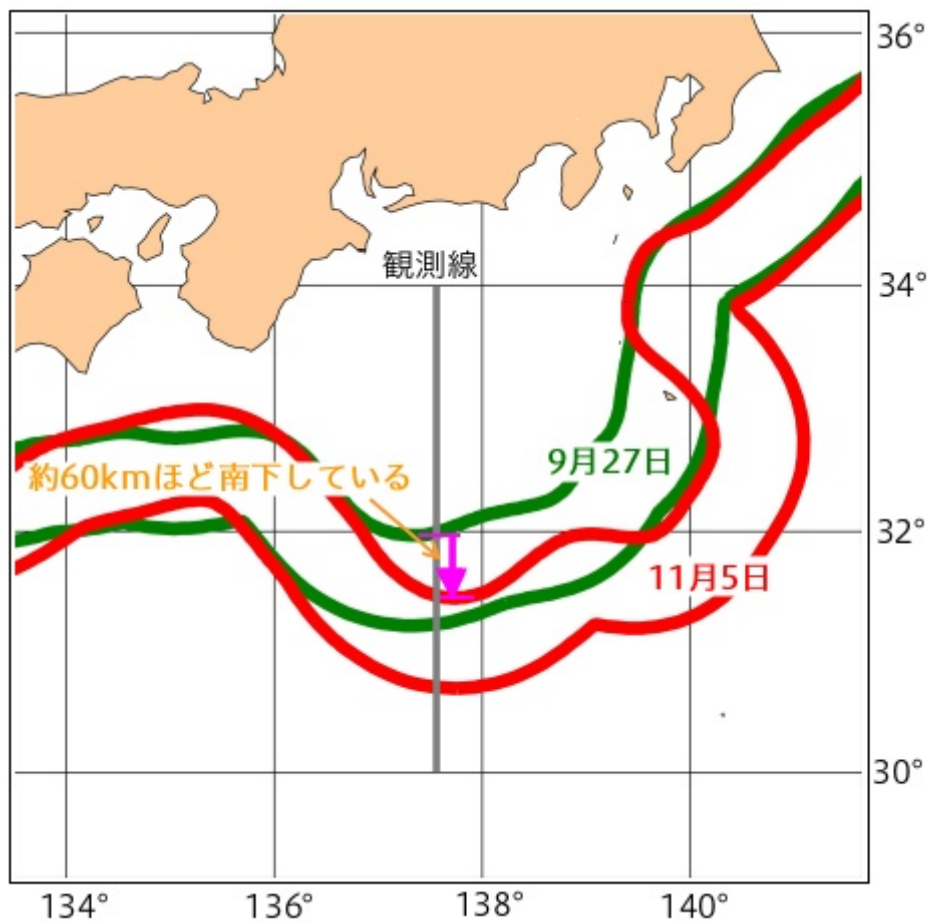
http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/etc/kuroshio_portal_201710.html

*1流軸 海流の最も強いところ



測量船「海洋」による海流の実測値(11月3日)

大蛇行: 黒潮が潮岬で離岸した状態で安定し、かつ流軸が東海中で北緯32度より南に位置している状態



9月下旬から11月上旬までの流路の変化(緑:9/27、赤:11/5)

(黒潮の南端付近の流路は、1ヶ月あまりで、約60kmほど南下している。)